



広島市議会議員
母谷たつのり

葉風

謹啓

今夏は全国各地を猛暑が襲い、高知県・四万十市では記録の残る日本の高温記録を更新し、過去最高の41度に達するなど酷暑の年となりました。

こうした気温上昇は海面温度も上昇させ、例年に無い台風の発生を招き全国各地に大きな被害をもたらしました。特に台風26号により甚大な被害を被った伊豆大島の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

また、中国で発生している多量のCO2排出は、地球温暖化を抑制しようとしているグローバル社会に逆行していると言えます。こうした状況はPM2.5を大量に発生させ、中国の大都市を中心に視界不良、健康被害などが問題となっています。さらに天安門前の車輛突入事件や山西省・太原市の連続爆破事件などでは、国民の不満が爆発し国内統治に苦慮している現状がうかがえ、経済成長の歪みが生じています。

今冬は例年より厳しさが増すと予想されています。皆様方におかれましてはご自愛いただきますよう心からお祈りいたしております。

謹白

- 9月定例会
- 決算特別委員会
- 総括質疑(決算特別委員会)
- 石内地区計画

9月定例会

9月定例会は、9月13日から27日までの15日間の日程で行われました。初日に松井市長の提案理由が説明され、その後の一般質問、常任委員会審査を経て、最終日の本会議で討論、採決を行い賛成多数で原案通り可決しました。今定例会では橋梁緊急保全対策(2億円)など4億6千万円余りの補正予算が提案されたほか、条例案9件、その他の議案7件、報告6件と決算認定案を審議しました。

また、これまでは決算認定の中で取り扱われていた下水道事業会計の平成24年度未処分利益剰余金(9億3,094万484円を減債基金に積み立てる)は、今年度審査から別議案の第95号議案として本会議へ上程され、原案可決しました。

決算特別委員会

決算特別委員会は10月3日、平成24年度決算の概要説明が行われ、広島市各会計歳入歳出決算(一般会計と19の特別会計)と水道事業、下水道事業、病院事業の



本会議で提案理由を説明する松井市長

3事業会計が決算の審査対象になりました。その後、10月9日の総括質疑を経て16日からは、6分野・3分科会に分かれて詳細な審査を行いました。決算審査の最終日となった23日は、全体会議で討論、採決を行い賛成多数で平成24年度決算は、すべての会計において認定しました。

その後、10月30日に臨時会が招集され、決算特別委員会で出した結論に基づく内容を本会議に諮り、議会としての決算認定を賛成多数で承認しました。

あなたの声を聞かせてください。いい汗流そう! いい笑顔つくろう!

母谷たつのり

私が直接
ご返事します

ホットライン

ご意見
ご要望は

TEL.929-9002 info@motani.jp

総括質疑 〈決算特別委員会〉

10月9日、松井市長、西藤副市長、荒本副市長に加え、局長級など広島市幹部が出席する中、私は会派を代表して総括質疑を行いました。この総括質疑の様子は、**母谷たつりのホームページ→議会中継→平成25年度決算特別委員会**でご覧になれます。

①積算と入札制度・設計図書

広島市の発注する土木工事のうち、不調となった(応札なしを含む)工事は、平成24年度分で179件にもなっていますが、その原因は担当職員の積算能力の低下に問題があるのではないかと指摘し、特に標準設計では対応のできない工事単価の見直しを求めました。積算能力の向上にはOB職員の蓄積した知識・経験を活用した研修を進める必要性も求めました。また、**設計図書**を指定業者から有料で購入することとなっている現状の不合理的な現状を改め、工事発注時に広島市ホームページなど**関連サイトへPDF化**するよう改善を求めました。

②大規模事業所内保育施設

待機児童は本年4月1日現在で372人となっています。これまでの待機児童の解消に向けた広島市の取り組みに加え、広島市を代表するような**大規模事業所内への保育施設の設置**を検討するよう求めました。

待機児童解消の問題は、今日的な社会構造に起因するものであり、広島市だけの問題ではなく、民間企業にも理解、協力を求めることが重要であると考えています。広島市が率先して補助制度などオリジナルモデルを構築し、企業にとっても魅力ある制度の実現で早期に**待機児童0(ゼロ)**を達成する必要があると提言しました。

③時効消滅した市収入

広島市では、市税(市民税、固定資産税など)、国民健康保険料、介護保険料、保育料、住宅使用料など主要10項目において直近の**10年間だけで約240億円が時効により請求権を失っている**現状について質しました。

松井市長は、今年度から収納対策本部を設けて体制強化を図りましたが、担当部署ごとに滞納整理を行っている現状を改め、**専門部署で一括管理**による効率化を図るよう求めました。また、債権回収会社など民間の専門会社との業務委託を導入し、円滑な滞納業務の推進を図るよう求めました。

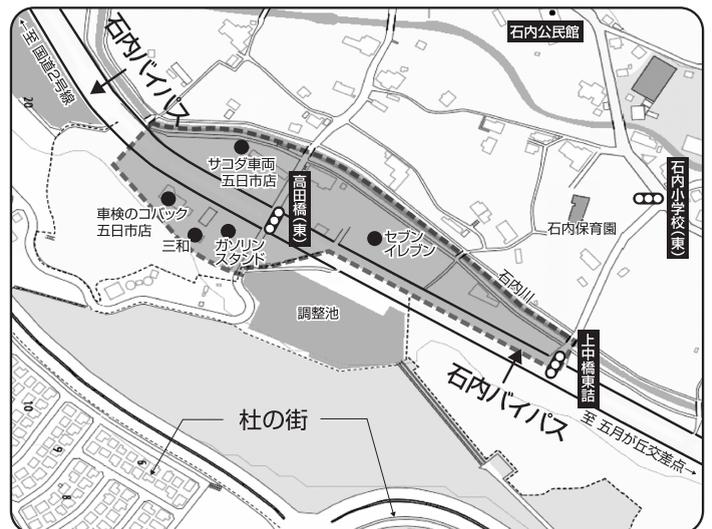
④内部統制の強化

広島市では、平成22年度に発覚した**不正経理**(平成21年度分決算歳入・歳出)について地方自治法に基づいて処理すべきところ職員の役職に応じて任意弁済金を支払させた上、市長給与20%減額(1カ月)という任意処理を行いました。本来であれば会計検査院に指摘された8億5千万円余りは、**職員賠償審査会**へ諮られ、その後、**監査委員会**へ通報して損害額を確定させなければなりません。ところが当時の秋葉市長は、前述のやり方で問題の幕引き処理を行いました。このような行政体質は即刻改めるべきであり二度とあってはならないことです。しかしながら、この処理方法を未だに正当化する一部議員がいることは不見識きわまりなく、**広島市政の信頼回復**を大きく損なう要因になっています。私は平成23年春の改選後、選挙で訴えたこの問題について一貫して取り組み、**広島市監査委員**として保育園や環境事業所などの現場監査に出かける等、過去に例を見ない厳しい内容の審査意見を取りまとめました。

不正経理の再発防止は当然のことであり、今回の総括質疑においてもその対策とチェック体制は**内部統制の強化**にほかならないと指摘しました。また、酒気帯び運転など相次ぐ不祥事なども含めた**綱紀粛正**を徹底し、行政の信頼を回復するためには大胆で活力ある人事異動を行い、緊張感をもった職務遂行が必要であると提言しました。

石内地区計画

私は、平成23年9月議会で**西風新都整備計画の縮小・見直し**について質問しました。松井市長は私の質問に対して積極的姿勢で応え、ほぼ**満額回答**の答弁を行いました。その結果、バブル崩壊後に市街化調整区域として20年来止まっていた石内地区での開発が動き始めました。なかでも基幹道路でありながら**石内バイパス**沿道での建築が制限されていることは地域にとっても広島市発展にとってもマイナスの状況となっていました。今年の9月議会では、石内地区住民の理解と協力が進み**石内上中地区で大規模な地区計画**がまとまり、第86号議案として議決されました。これによって**地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部が改正され、市街化調整区域でありながら建物の建築が可能**となりました。引き続き石内バイパス沿道における地区計画の実現に努力して参ります。



Challenge 21

母谷たつりの事務所

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号 TEL.929-9002 FAX.927-7080

市議会 TEL.504-2442
FAX.244-1419

E-mail info@motani.jp

広島市議会ホームページ

検索

検索してね!

母谷たつりのホームページ

検索

http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/

http://www.motani.jp



「明るく、元気で、魅力ある広島」の実現!